

ひかりのこ

1.2月園便り
認定こども園
聖ミエル幼稚園
2024年1月22日

月主題：やってみたい・わかちあう

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

皆様、冬休みはいかがお過ごしでしたか。幼稚園では、預かり
保育の子どもたちが、年末年始のお休み以外、毎日登園してきて
いました。感染症が流行することもなく、たくさん遊んで、たくさ
んご飯を食べて、学年、クラスを越えたお友達と雪山で遊んだり、
ラキューの大作を作ったりして生活をしていました。

さて、おとなりのHIROBAでは、1月第2週に、小学生や中学
生対象に、日曜学校の先生たちが中心となり、学習会を開いてい
ました。私は仕事が混んでいて、ちょっと顔を出すだけでしたが、
幼稚園の卒園児の懐かしい顔をたくさん見ることができました。
お昼には婦人会の方々が、おいしいご飯を作ってください、子ど
もたちはお昼代100円をもって集まってきました。園庭では、幼
児・乳児の子どもたちが遊んでいて、同じ敷地に様々な年齢の子
どもたちが活動をしている光景は、とても素敵でした。本当の意
味で、この場所が子どものための施設になってきたように思いま
す。夏休みには、また、学習会を行うようですし、私や絵本の部
屋の先生の読書感想文の指導も行う予定です。卒園しても、子ど
もたちが足を運んでくれるよう、これからも工夫を凝らしてい
こうと思っています。

さて、3学期が始まります。年長さんたちにとっては最後の園
生活。ずっと別れたくはないけれど、卒園に向けて、小学校に向
けて、いろいろと準備をしていきましょう。また、年中さん、年
少さんは年長さんを送り出す活動、そして進級するための活動
を行っています。みんな成長してきました。私たち職員は、その
成長を、目を細めて見えています。

どうぞ保護者の皆様も、幼稚園と心を合わせて子どもたちを見守
っていきましょう。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「聖なる息吹は」 (聖歌118番)

北国の長い冬が始まりました。幼稚園への行き帰りの
道を歩きながら、吐く息の形は、小さな子ども達の
目にどのように映っているのでしょうか。無色透明の空
気が自分の口から出る時には白い煙のようになって空
気の中に消えていく。吐く息で手を温め、吐く息が曇
らせる視界の先には、痛いほどに冷え切った空気と、
どこまでも雪化粧をした世界が広がります。

緑が消え、命が寝静まってしまったようなこの季節
は、却って、いきものたちの息遣いをより強く感じさ
せてくれる時期でもあります。海を渡る鳥たち、積も
った雪の上に足跡を残す狐や鹿たち、もっと小さい
いきものたち、散歩に歩くワンちゃんも、白い息を吐
いて生きています。

私たちが意識せず続けている呼吸は、神様が造られ
たすべての命と私たちが、共に神様の恵みの内にある
ことを知ることができる絆であり、生きている証なの
です。

「息あるものはこそって 主を賛美せよ。ハレルヤ」
(旧約聖書 詩編150:6)

チャブレン 司祭 上平 更

